

## 別紙3 2019年度（平成31年度）地方公共団体カーボン・マネジメント強化事業 補助事業概要書（実績版）

事業計画	補助事業者	宮城県遠田郡 美里町		事業名称	美里町公共施設省エネ化モデル事業		 健康福祉センター
	事業対象施設	健康福祉センター		事業期間	平成31年度		
	設備内容 (導入設備・運用改善等)	健康福祉センター（電気式HPエアコン、LED照明、BEMS） 中央制御方式の熱源を暖房等に使用しているが、各部屋の稼働率がバラバラであることから効率が低下していたため、個別空調方式に切り替え、効率化を図るとともに燃料種別の転換（灯油→電気）により排出量の削減を図った。また、集中コントローラーにより取得したデータを原単位評価に用い、継続的な運用改善がなされる体制を構築した。照明についてはBEMSによる制御により、不要な電力消費を防止し、排出量の削減を図った。					
	補助対象経費 (補助金交付確定額)	79,455,473円 (52,970,000円)	事業実施後のCO <sub>2</sub> 削減効果 (見込)	40.0 t-CO <sub>2</sub> /年	導入設備に係る想定ランニングコスト ※耐用年数の期間	20,733,690円	
	事業内容等	先進性・モデル性（カーボン・マネジメント推進体制等との組合せによるモデル性等） 本町の設備更新においては老朽化設備の単純な同等品への置き換え更新とすることが多くなっていたが、排出量削減と財政面の両面から計画的な省エネ効果の高い継続的な設備更新措置が必要となっていた。 このため本事業においては、部局の枠を超えて重点的な設備更新を行い長寿命化する施設を抽出するとともに、照度シミュレーションや空調設備のゾーニング、燃料転換など、これまでの本町の設備更新において検討されてこなかった手法を取り入れた。 また、BEMSを導入し、カーボン・マネジメントシステムマニュアル（計画、実行、計測、見直しの各手順を定めたもの）と合わせて運用することで、原単位による評価や省エネ効果の把握が着実に実行されるスキームを構築した。 なお、本町の再生可能エネルギー資源は太陽光発電のみとなっているため、今後太陽光発電をより有効に活用し、排出量の削減を図るとの観点も含め、燃料転換を実施することとした。 なお、本事業で対象外とした施設については、本事業で作成した照度基準を踏まえ、今後、民間資金を活用しながら設備更新を実施するスキームを検討しているほか、太陽光発電設備についても民間資金を活用しながら早期に導入を図るスキームを検討している。					
カーボン・マネジメント推進体制等	カーボン・マネジメント推進体制	本町では、町長をトップとするカーボン・マネジメント体制を構築し、実施マニュアルを整備している。実施マニュアルでは、PDCAサイクルを、全庁的な評価等を実施するPDCAサイクルと、実行組織内部の組織ごとに評価等を実施するPDCAサイクルの2つを規定しており、多層的なPDCAサイクルとしている。					
	ノウハウの普及方針	本町はCOOL CHOICEに賛同し、庁舎入口への掲示を行い町民への周知に努めている。今後は美里町出前講座の一環として省エネ、再生可能エネルギーの活用に関する講座を設け、町民等へ積極的な活用を促すほか、民間事業者等とも連携し、環境学習等を含めた効果的な普及方策について検討を進める予定である。					